PRESS RELEASE

報道関係各位

2025年11月20日
株式会社LIXIL

INAX MUSEUMS

大阪・関西万博 ポルトガルパビリオン初出展

アズレージョを用いたインスタレーション作品《A JANELA（窓）》がINAXライブミュージアムに寄贈、常設展示へ！

【一般公開】2025年11月28日（金）から
【展示場所】INAXライブミュージアム メインアプローチ（第2駐車場）
【URL】https://livingculture.lixil.com/ilm/see/spot/#spot-section01

株式会社LIXIL（以下LIXIL）が運営する、土とやきものの魅力を伝える文化施設「INAXライブミュージアム」（所在地：愛知県常滑市）では、ポルトガルの伝統的な装飾タイル「アズレージョ」を用いたディオゴ・マシャード（ADD　FUEL)によるインスタレーション作品《A　JANELA（窓）》を、2025年11月28日（金）からメインアプローチ（第2駐車場）に常設展示します。
本作品は、2025年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）ポルトガルパビリオンに屋外展示するため、ポルトガル政府観光局の委嘱により制作されたもの。資源の有効活用など持続可能な運営を掲げた大阪・関西万博の目標を実現させるため、レガシーの継承先を探していたポルトガル政府観光局から、「世界のタイル博物館」を有する当館に寄贈の申し出があり、このたび常設展示の運びとなりました。

寄贈されたインスタレーション作品《A　JANELA（窓）》の作者は、ポルトガルの現代アーティスト、ディオゴ・マシャード（ADD　FUEL)。制作に際し日本の文化について調査し、「青海波」「雲」「源氏車」「花菱」「龍」「鳥居」「巴紋」など、日本の伝統的な文様に注目。敬意を払いながらも創造的に再解釈し、ポルトガルが誇る装飾タイル文化に融合させました。開口部は、ポルトガルと日本の文化間の対話への扉、両国をつなぐ象徴的な「窓」として提示されています。本作品が彼にとって日本初の常設展示となります。
素材の伝統、革新、そして異文化間の対話をぜひ、ご体感ください。

＊大阪・関西万博ポルトガルパビリオン屋外展示風景
©EXPANDINGROOTS

発行元：株式会社LIXIL（http://www.lixil.com/jp）
本社：東京都品川区西品川一丁目1番1号大崎ガーデンタワー24F
※このリリースは、LIXIL Newsroom（https://newsroom.lixil.com/ja/）でも発表しています。

PRESS RELEASE

アズレージョを用いたインスタレーション作品《A JANELA（窓）》の常設展示について
【一般公開】2025年11月28日（金）から
【展示場所】INAXライブミュージアム メインアプローチ（第2駐車場）
【URL】https://livingculture.lixil.com/ilm/see/spot/#spot-section01

■ アズレージョについて
ポルトガル語でタイルのことを「アズレージョ」という。15、16世紀に首都リスボンで本格的に色絵タイルの制作が始まり、17世紀後半からは中国の染付磁器の影響を受けた、白地に青色の単彩タイルが多くつくられるようになり、大型のタイル絵などが建物の外壁に使われ街を彩っている。

■ 作品情報
作品名：A JANELA（窓）
作家名：ディオゴ・マシャード（ADD FUEL）
制作年：2025
作品サイズ：W182×D63×H244 cm
素材：タイル（552枚）、アルミフレーム、ステンレス
タイルメーカー：Viúva Lamego
初出展： 2025年日本国際博覧会 ポルトガルパビリオン
寄贈元：ポルトガル政府観光局

＊老舗タイルメーカー、ヴィウヴァ・ラメーゴ社による手描きタイル制作の様子

＊ 作品を覆うアズレージョのディテール

いずれの画像も、©EXPANDINGROOTS

■ 作家情報　ディオゴ・マシャード（ADD FUEL）
ADD　FUEL[アド・フューエル]は、ポルトガルの現代アーティスト、ディオゴ・マシャード [Diogo Machado]のアーティスト名。
2008年からアズレージョの反復模様、幾何学性、文化的豊かさに魅了され、伝統工芸の探求と再解釈を開始、タイルアートで国際的に高い評価を得ている。多様なメディアを駆使して制作された彼のパブリックアートは、ヨーロッパをはじめ、アメリカ、カナダ、チュニジアなど各地に設置されている。日本では、本作品が初の常設展示。

©Maria Rita

■ 作家からのメッセージ　※英語の原文を和訳

この作品は単なる装飾的なオブジェではなく、ポルトガルと日本をつなぐ象徴的な「窓」として構想されたものであり、伝統と革新、記憶と可能性を交錯させるものです。
私にとって「常設」であるということは、この作品が万博という一時的なイベントの枠を超えて、その生命を長く保ち続けるという意味を持っています。
INAXライブミュージアムの理念や空間的な特性を踏まえると、《A JANELA（窓）》がここに収まることは非常に意味深く、ふさわしいことだと思います。手描きのタイルで構成されたこの作品は、陶芸と建築陶器を深く理解するミュージアムの中でこそ、まるで「帰るべき家」にたどり着いたように、より豊かな表情を見せます。
作品の素材的、技術的、象徴的な側面を深く感じ取るための文脈を与えてくれるINAXライブミュージアムが常設の場として選ばれたことにより、単なるアート作品としてではなく、素材の伝統、革新、そして異文化間の対話という広い文脈のなかに位置づけられることになります。来館者も、この作品を単独で見るのではなく、他の作品やコレクション、建築的な表現との対話のなかで見ることができるという、相乗効果が得られるでしょう。

■ ポルトガル政府観光局からのメッセージ　※英語の原文を和訳

作品《A JANELA（窓）》の理想的な恒久展示先として、INAXライブミュージアムを見つけることができたことを大変嬉しく思います。このポルトガルと日本のパートナーシップは、単なるアートを超えたものであり、伝統・職人技・革新に対する深い敬意を共有する二国間の架け橋を象徴しています。今回の取り組みを通じて、Visit Portugal は文化交流を促進し、ポルトガルの創造性を世界に発信するという使命を再認識しています。《A JANELA（窓）》の設置は、両国の文化を結ぶ永続的な対話とつながりの象徴として、多くの来館者に感動をもたらすことでしょう。常滑という新たな地で、この作品が新しい命を吹き込まれる瞬間を心待ちにしています。

カルロス・アバーデ、ポルトガル政府観光局長

■INAXライブミュージアム概要

所在地：〒479-8586　愛知県常滑市奥栄町1-130
TEL：0569-34-8282　　FAX:0569-34-8283
休館日：水曜日（祝日の場合は開館）、年末年始 12月26日（金）～2026年1月4日（日）
特別開館日：12月24日(水)
共通入館料：一般：1000円、学生 800円 、中高生：500円、小学生：250円/税込
ホームページ：https://livingculture.lixil.com/ilm/
Facebook：https://www.facebook.com/LIXIL.culture
Instagram：https://www.instagram.com/lixil_inaxmuseums/

やきもの製品のテクノロジー拠点、愛知県常滑市にLIXILが開設する文化施設。「窯のある広場・資料館」「世界のタイル博物館※」「トイレの文化館」「建築陶器のはじまり館」「土・どろんこ館」「陶楽工房」「やきもの工房」の7館からなる“体験・体感型ミュージアム”。土からやきものまで、その歴史や文化、美しさや楽しさを伝えています。土と陶の魅力に触れる体験教室や企画展、ワークショップも開催。

※「世界のタイル博物館」では、紀元前から近代まで、世界の装飾タイル7000点以上を収蔵。タイルの歴史や文化を研究すると共に、展示を通してその魅力を伝えている。

About LIXIL
LIXILは、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEMをはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。
現在約53,000人の従業員を擁し、世界150カ国以上で事業を展開するLIXILは、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で10億人以上の人びとの暮らしを支えています。
株式会社LIXIL（証券コード: 5938）は、2024年3月期に1兆4,832億円の連結売上高を計上しています。
LIXILグローバルサイト：https://www.lixil.com/jp/